

大牟田市立銀水小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、地域の教育力を効果的に活用し、学習活動として学年の実態に応じた単元構成の工夫をしながら、環境・エネルギー、地域遺産・世界遺産、人権・福祉の学習などを重視した取組を行っている。特に、低学年においては、児童の興味関心を大切に、楽しく遊びながら、身近な自然環境に関わっていくようにしている。3年生以降から人権・福祉教育として「人」とのつながりを通して、共生社会の生き方について考えるようにしている。また、4年生では地域の宝を調べ、地域のために自分たちにできることを考えて行動に移すようにしている。5年生においては、地域にある福祉施設で暮らすお年寄りの方々との交流を通して、その関わり方について考えを持つとともに、自分の生活と関連付けて考えながら、学習したことを全校児童に発信していくようにしている。

このように、本プロジェクトは、地域と直接関わる体験を重視し、その特色を生かしながら地域に対する感性を養うとともに、郷土の文化や生活に親しみ、郷土を大切にしようとする態度を育てるようになっている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

【環境・エネルギー】

1年生「ひとつぶのたねから」(生活科 5月～12月 12時間)

2年生「おいしいやさいをそだてよう」(生活科 4月～12月 17時間)

3年生「めざせ、生きものはかせ」(総合的な学習の時間 4月～7月 22時間)

4年生「取り組もう、ゴミ減量生活」(総合的な学習の時間 4月～7月 21時間)

【地域・世界遺産】

2年生「まちたんけん」(生活科 4月・5月・6月・10月・11月・1月 44時間)

4年生「銀水花いっぱい絆プロジェクト」(総合的な学習の時間 9月～3月 32時間)

5年生「受けつごう・銀水太鼓」(総合的な学習の時間 9月～2月 21時間)

6年生「守っていこう、郷土の歴史遺産」(総合的な学習の時間 9月～12月 23時間)

【人権・福祉】

1年生「ひろがれえがお」(生活科 10月 10時間)

2年生「つくろうあそぼうくふうしよう」(生活科 6月 12時間)

3年生「心をつなごう、銀水っ子」(総合的な学習の時間 9月～12月 27時間)

5年生「共に生きよう、銀水っ子」(総合的な学習の時間 4月～7月 20時間)

6年生「踏み出そう、夢への第一歩」(総合的な学習の時間 1月～2月 16時間)

3 特徴的な活動事例

＜地域学習（4年生総合的な学習の時間 単元「銀水花いっぱい絆プロジェクト」）＞

(1) 目標

○銀水校区の宝や学校生活と地域とのつながりについて調べることを通して、郷土を愛する心情と感謝の気持ちを持ち、そのよさを伝えるための活動について考え、工夫して実行することができる。



(2) 実践の展開

①校区の宝や地域とのつながりについて話し合い，学習計画を立てる。(3時間)

- 校区の宝について知っていることを出し合う。
- 家族，5年生，地域の人にインタビューしたことを出し合い，学習課題を設定する。
- 学習計画を立て，花の種を植える。

②校区の宝について調べる。(14時間)

- 校区の宝について調べる。
- 地域で活躍されているGTの思いや願いについて調べる。
- 各自で調べたことをまとめ，学級で話し合う。
- 校区のよさを広げるための方法を話し合い，地域の方や保護者に発表する。

③地域の方や家族に感謝の気持ちを伝えよう。(8時間)

- 地域や家族に感謝の気持ちを伝える方法について話し合う。
- プレゼントをする場所や相手を決め，花を育てる。
- 花の贈呈式を準備し，花の贈呈式を行う。



④「銀水花いっぱい絆プロジェクト」をまとめよう(7時間)

- 「銀水花いっぱい絆プロジェクト」の活動を他学年に効果的に伝える方法を考え，準備をする。
- 新聞などを掲示したり，他学年に発表したりして，単元のまとめをする。
- 種取りをして，次年度の4年生へのプレゼントの準備をする。

(3) 子どもたちの様子

「③地域の方や家族に感謝の気持ちを伝えよう」の段階では，地域や家族に感謝の気持ちを伝えるために花の贈呈式を計画し，目的を持って花を育てる活動に取り組んだ。自分と地域の宝，学校生活，地域とのつながりを感じ，大切にしていこうとする姿が見られた。毎朝進んで花壇に様子を見に行つては水をやったり草を取ったりして，たくさんの美しい花を咲かせることができた。地域を支える多くの方々に花を贈呈し，喜びを感じることができた。

今年度は様々な場で自分たちの活動を発信することができ，達成感を味わうことができた。今後も銀水小学校で引き続き取り組んでいけるよう種子を取り，3年生にプレゼントする計画を立てている。

(4) 成果と課題

〈成果〉○銀水校区への思いや考えを深めたことで地域とのつながりを尊重する考えを持つことができた。

〈課題〉○今後も「銀水花いっぱい絆プロジェクト」を持続発展的に学習していくため，地域への啓発活動をさらに強化していく必要がある。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・校区内外の関係者・関係機関との連携がよりスムーズになり，学校との協働体制が確立できた。

○課題

- ・全学年の各取組におけるねらいを整理し，全教職員・地域の方々などと再確認すること。

